

時とともに周辺の姿は変わっても、加治丘陵を包む開放的な山野の印象は、何度訪れても変わることはありません。パーマナントコースの発祥の地にふさわしい環境は、多くの人の手によって維持されています。

「仏子」コース 埼玉県 No.4
JOA 公認 No.11 9km10 ポスト

黎明期のコース

パーマナントコース黎明期に開設され、わずか5年で閉鎖された入間コースを継承する形で設置されたのが、今回紹介する仏子コース。入間コースが廃止となった理由というのが、南に広がる茶畑に組まれたコースにおける空

き缶公害だったそうで、一部の利用者のモラルの低さが招いた残念な歴史です。私がPCと出会ったのはその3年後。入間コースは幻の存在でした。

長年欠番だった公認 No. 11 の復活はコース名こそ変わったとはいえ、PCファンにとっては歓喜の瞬間でした。私の初挑戦は昭和 63 年 5 月のこと。浪人が決まり、このコースを区切りに受験勉強に再度専念したことを思い出します。

27年ぶりに再訪しようとネットプリントで出力してみると、ポストを結ぶ線の形が記憶と幾分異なります。古いファイルを引っ張り出して、前回のコースと比較すると、7ヶ所ものポスト位置が変更されています。俄然再訪の興味が膨らみ、未踏破コースに挑戦する際のような期待感がムクムクと生まれます。

次代はネットプリントへ

当日は湘南新宿ラインで池袋まで向かい、西武池袋線に乗り換えます。この池袋線、前身の武蔵野鉄道の池袋-飯能間の開業が1915年4月15日ということで、今年で開業100周年。仏子駅も同じ歴史を歩んでいます。

改札口は北と南にありますが、スタート地点は北口です。ところが、駅の壁に寄り添うようにかつては設置されていた案内板の姿が見えません。当時の写真を頼りに探してみると、びたりと重なる場所を発見。足元を見ると案内板の2本脚を切断した痕跡が残っていました。ネットプリント化したことで不要になり撤去されたようですが、スタート地点の特定やコースの宣伝のためにも案内板は残しておいて欲しいものです。

すでにコース図の記されたマップを持参していたので、すぐに踏破開始です。

オリエンテーリングのメッカ加治丘陵にコース全体が収められており、最高の環境が待ち構えています。



開業 100 年を迎えた仏子（ぶし）駅

快適なコース

第 1 ポストは変更なく高正寺山門前。西武鉄道の踏切を渡り、住宅地を抜けていくとほどなく到達します。

ここから 2 つのポストは移設されたことから、選択するルートも変更になっています。山林の手入れや植物観察などの活動を行っている加治丘陵どんぐりの会が所有する林にある分岐で第 2 ポストを確認します。周囲はさすがの整備状態。極めて快適な森林環境が広がっています。

南に進むと加治丘陵ではおなじみの武蔵サイクリングコースに到達します。昭和 44 年に開設されたものですが、昭和 61 年には廃止扱いとなり、現在は散策路として活用されています。その途中の道端で第 3 ポストを確認します。



加治丘陵を巡る武蔵サイクリングコース

第 4 ポストもサイクリングコースを

たどるだけ。途中崖沿いを上ってくる道と合流します。かつてはコースに組み込まれていたルートですが、崖の崩落の危険を考慮して現在は回避されています。加治丘陵ふれあいの森と称された一帯にある分岐がポスト位置で、ここは以前と変更ありません。ただしポストは更新されていて、すぐ横にはかつての標準サイズのポストの根元が今も残っています。

ここからいったん下ります。かつては北に下った小道の分岐に第 5 ポストがありました。地図が 4 つ折りだった頃、このポストで撮影された親子の写真が表紙に使われていたものですが、今はもうここにポストはありません。そして、小道自体も地図とは異なり、道に突き当たる地点は南寄りに変更となっています。87 年に開校された駿河台大学の敷地を掠め、道路を南に下ると橋の脇にある第 5 ポストが顔をのぞかせています。

第 6 ポストは変更なく小道の分岐に設置されています。尾根を行く小径はオリエンティアのみが利用するような野趣あふれる雰囲気。通行困難な個所はなく、しっかりとポストまで導いてくれます。

これ以降のポストは全て移設されています。徐々に道も広くなり、三叉路で第 7 ポストを確認し、第 8 ポストのある桜山展望台を目指します。南北に走る道を横断するルートをたどり、愛宕神社までやってくると展望台はもうすぐです。アジサイに囲まれたポストを確認すると、先を急がず展望台に登ってみることにします。高さ 20m、3 階分の階段を上ったところは標高 180 m の地点。360 度の展望が開け、晴天のこの日は東京スカイツリーもはっきり確認できました。

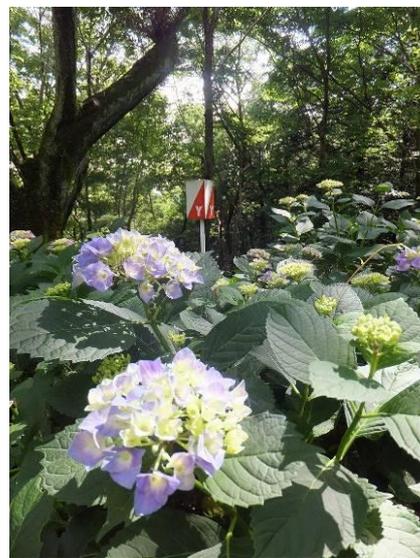
サイクリングコースの開放的な雰囲気を堪能しながら東に進み、道から奥に入ったところに立つ第 9 ポストを逃さず見つけます。小道の入口はやや分かりにくいものの、道からもはっきり見えるので、注意していれば見過ごすことはないでしょう。

最終ポストはサイクリングコース終点手前の道端に設置されています。余談ですがこのサイクリングコースは入間市が設定している「げんきな入間ふれあい茶ん歩（さんぽ）道」の「加治丘陵を楽しむ」コースに設定されています。ほかにも 6 つのコースが生まれ、入間市の郷土の歴史や文化に触れることができる、地域学習にはうってつけ

の散歩ガイドになっています。

ゴールまでの道は武蔵野音楽大学入間キャンパスの敷地に沿って進みます。教室棟から流れてくる音楽を聴きながらコースを歩くというのも優雅なものです。ポストから駅までは 1.5km。車に注意しながら南口に到達し、陸橋を越えて元の案内板のあった地点まで戻るとコース終了です。

(2015 年 6 月 6 日 踏破)
(大高竜亮)



桜山展望台はアジサイが花盛り